

「忘れてはいない」思い込め…

被災地ホームレス支援

国際医療救済団体「AMD A」（本部・北区伊福町）は24日、仙台市で路上生活者を支援しているNPO法人「仙台夜ま

わりグループ」に支援物資を送った。震災の影響などで路上生活を送っている人たちに厳冬を乗り越えてもらおうと支援を

決めた。AMD Aのスタッフらは「震災のことを忘れていない」と思いを込めて物資をトラックに積み込んだ。

AMD A 仙台へ物資

同グループの活動を知った太生山一心寺（南区）の中島妙江住職がAMD Aなどに声を掛け、支援が決まった。おかやまコープや両備トランスポートカンパニーなどの協力を得てカップ麺2000食▽カイロ2000個▽簡易防寒寝袋300個を送り出した。支援は4月まで行う予定で、今後もカップ麺などの食料を送るといふ。

＝北区で

仙台夜まわりグループ理事長の今井誠二さんは「震災をきっかけにホームレスになった人もいるが、それまでホームレスだった人が復興事業で職を得た場合もある」と説明し、震災後、毎週のように新しいホームレスと接触するようになったと

おかやまコープの全体理事を務める宮本紀子さんは「あったかいものをおなかに入れて、ぐっすり寝て寒さを乗り越えてほしい」と話した。

東日本大震災

おかやまコープの全体理事を務める宮本紀子さんは「あったかいものをおなかに入れて、ぐっすり寝て寒さを乗り越えてほしい」と話した。



トラックにカップ麺を積み込むAMD Aのスタッフら